

カリキュラム区分		2カリ		シラバス区分		学部生		
科目区分	科目コード	履修時期		開講学科	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）	時間	単位
		学年	学期					
専門科目	229	3年	前期	看護学科	必修	精神看護方法論 Psychiatric and Mental Health Nursing Methods	30	1
担当教員								
中平 洋子	越智 百枝	坂元 勇太						
関連するDPキーワード（看護学科）								
	① 幅広い視野と豊かな感性を身につけ、人々の権利や意思を尊重した倫理的な看護が実践できる。							
	② 他者との関係性を成立・発展させるためのコミュニケーション能力を身につけている。							
	○ ③ 地域で生活する複雑・多様な対象を、専門的知識に基づき総合的に理解するための基礎的能力を身につけている。							
	○ ④ 看護の対象が、その人らしく生きられるように、科学的根拠に基づいた看護が実践できる能力を身につけている。							
	○ ⑤ 地域社会及び保健・医療・福祉分野における多職種と連携・協働し、看護職の役割を拡大できる基礎的能力を身につけている。							
	⑥ 看護専門職として、主体的・創造的に継続学習に取り組む能力を身につけている。							
	⑦ グローバルな視点で看護実践を科学的に探究し、看護を発展させる基礎的能力を身につけている。							
関連するDPキーワード（臨床検査学科）								
	① 幅広い知識・教養をもとに、医学検査の対象となる人を総合的に理解し、その人の権利や意思を尊重することができる。							
	② 医学的に必要な専門知識・技術を備え、検査データを総合的に解析する力を身につけている。							
	③ 多職種間で連携・協働しながら医学検査の専門家として貢献できる力を身につけている。							
	④ 医学検査とそれぞれに関連した幅広い分野の発展・向上のために、自らの能力を高める自己教育力を身につけている。							
	⑤ 科学的思考力に基づき、医学検査の進歩・発展に対応できる学究的態度を身につけている。							
	⑥ 医学検査を通して、社会の多様性に合わせた貢献ができる基礎的能力を身につけている。							
授業目的								
メンタルヘルス論や精神看護対象論で学習してきた対象となる人々の理解を基盤に、対象のセルフケア能力をアセスメントし、患者（当事者）を含む家族が、回復力を発揮しながら家族らしく生活できるよう支援するための知識や技術を修得する。また支援の際の多職種との協働について学ぶ。								
到達目標（授業目標）								
精神障がい回復過程に沿った看護について理解できる。								
精神科における治療と看護について理解できる。								
オレム・アンダーウッド理論を用いて看護過程を展開できる。								
社会参加に向けて病院内で行われている看護の実際と課題について理解できる。								
患者（当事者）を含む家族の回復力の発揮を促す支援について考えることができる。								
回 授業計画（項目・内容と方法・担当者）								
1回	授業ガイダンス							
2回	精神障がい回復過程に沿った看護①：統合失調症（中平洋子）							
3回	精神障がい回復過程に沿った看護②：統合失調症（中平洋子）							
4回	精神障がい回復過程に沿った看護③：統合失調症（中平洋子）							
4回	精神障がい回復過程に沿った看護④：統合失調症（中平洋子）							

5回	精神障がい回復過程に沿った看護⑤：依存症（アルコール、ギャンブル、薬物）（越智百枝）									
6回	精神障がい回復過程に沿った看護⑥：依存症（アルコール、ギャンブル、薬物）（越智百枝）									
7回	精神障がい回復過程に沿った看護⑦：境界性パーソナリティ障害、摂食障害（坂元勇太）									
8回	精神障がい回復過程に沿った看護⑧：境界性パーソナリティ障害、摂食障害（坂元勇太）									
9回	精神障がい回復過程に沿った看護⑨：うつ病/双極性障害（坂元勇太）									
10回	精神科治療と看護：薬物療法・活動療法・精神療法と看護（坂元勇太）									
11回	オレム・アンダーウッド理論を用いた看護過程の展開①（坂元勇太）									
12回	オレム・アンダーウッド理論を用いた看護過程の展開②（坂元勇太）									
13回	地域包括ケアに向けた支援：社会参加に向けた院内での看護の実際と課題（教育協力者、中平洋子）									
14回	地域包括ケアに向けた支援：家族支援（中平洋子）									
15回	地域包括ケアに向けた支援：心理教育、SST、認知行動療法、WRAP、対処ストラテジー増強法、ピアサポート、セルフヘルプグループ等（中平洋子）									
16回										
17回										
18回										
19回										
20回										
21回										
22回										
23回										
24回										
25回										
26回										
27回										
28回										
29回										
30回										
成績評価方法及び基準										
筆記試験（60％）、ミニレポート（10％） 自己課題（10％）、グループワーク課題（10％）、グループワークへの貢献（5％）、 授業への参加・出席状況（5％）										
教科書	武井麻子ほか									
参考図書等	野嶋佐由美「明解看護学双書3 精神看護学 第3版」（金芳堂）									
授業時間外の学習について（授業準備のための指示）										
講義、自己学習、グループワークを組み合わせる授業を行います。										
関連科目										
前科目	227	メンタルヘルス論	229	精神看護方法論	159	臨床病態学Ⅳ	240	看護アセスメントⅠ	241	看護アセスメントⅡ
後科目	230	精神看護学実習	249	総合実習						
実務家教員										
保健師（行政機関）	中平 洋子	越智 百枝								
看護師（医療機関）	坂元 勇太									
備考										